

F-3 プログラム管理者の定めるウェブサイトにおける公開情報 ¹⁸			
情報提供項目		記述欄	該当箇所
(1) 全般	取組名称	スリーエム ジャパン カーボン・オフセット認証コンクリート保水テープ	表紙
	認証取得者名	スリーエム ジャパン株式会社	A-1
	取組の概要 A-6項目にある一覧表も添付すること。	本取組は、スリーエム ジャパンが製造工場での省エネ等のCO2削減活動に可能な限り取り組んだ上で、製造・販売するコンクリート用保水テープを購入することにより、原料調達・製造・輸送から排出される0.46 (kg-CO2/m2) 全量をJ-VER及びJ-クレジット等によって、カーボン・オフセットすることができる取り組みである。	A-6
	適用したカーボン・オフセット 第三者認証基準のバージョン	Ver1.1	A-6
	認証有効期間	2022年4月1日 ~ 2023年3月31日	A-7
	オフセット主体 ^{※1}	申請者のみ	A-8
	オフセットラベルの用途	チラシ、製品、顧客用証明書	F-2
(2) 排出量の認識	認証対象活動	対象商品の原料調達・製造・輸送等、商品の販売、廃棄に係る活動	B-1
	認証対象取組内の温室効果ガス排出活動	対象商品の原料調達、製造、流通、販売、廃棄工程における設備・車両等	B-1
	算定対象範囲	対象商品の原料調達、製造、流通工程における設備・車両等から排出されるCO2を対象とする。	B-2
	算定方法(算定式及び算定方法の根拠とした文書名等)	(製造) エネルギー使用量 × 排出係数 = GHG 排出量 (流通) 輸送距離 × 輸送量 × 排出係数 = GHG 排出量 より、1m2あたりCO2排出量を算出した。	B-3 B-4
	算定排出量	86 t-CO2	B-5 D-1
(3) 排出削減	認証対象取組内の温室効果ガス排出削減の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・製造工場における省エネ活動を実施。具体的には、以下のとおり。 －休日運転設備の見直し －全体空調から個別空調への転換 －ボイラー使用台数の制御 －コンプレッサ、冷凍機、冷却水ポンプ等を高効率タイプへ更新 －エネルギーモニターによる見える化 ・製造工場における省資源化を実施。 	C-1

¹⁸ F-3 の全ての情報は、プログラム管理者の定めるウェブサイト(URL: <https://www.jcos.co/>)にて公開されますので、公開可能な情報のみを記入してください。

		<ul style="list-style-type: none"> ・その他の取り組みは、以下のとおり。 － 2000年12月までに、日本国内全ての拠点でISO14001を取得 － 社員の自発的な改善提案によるエネルギー効率改善活動 － エネルギー効率の優れた設備への転換 － エネルギー削減を推進する製品製造プロセスの導入 － 「環境活動賞」という環境保全活動に関する表彰制度 	
	消費者等又は寄付参加者への削減を促す取組 ^{※2}	<ul style="list-style-type: none"> ・スリーエム ジャパンは、対象商品の販売時に地球温暖化の喫緊性およびオフセットの概念、スリーエム ジャパンの企業スタンス等をしっかりとお伝えし、お客様の意識向上を図り、削減努力の促進を促す。 ・スリーエム ジャパンは、可能な限り多くの製品について簡易的な製品の CO2 算定を実施することで、環境負荷の少ない商品を生産し、お客様に届けるように努力している。 また、環境配慮製品を多く取り揃え、お客様の意識啓発にも積極的に取り組んでいる。 ・スリーエム ジャパンは、オフセットのみならず、植林をテーマとした商品など、環境配慮製品を多く取り揃え、意識啓発に取り組んでいる。 	C-2
	認証対象取組外の温室効果ガス排出削減の取組	<p>地域社会における CO2 削減活動などを実施。</p> <p>その他のスリーエム ジャパンが行っている様々な環境への取り組みについては、 https://multimedia.3m.com/mws/media/2105208O/2021-3mjapan-group-sustainability-report.pdf (3M ジャパングループ サステナビリティレポートを参照。)</p>	C-3
(4) 埋め合わせ	無効化量、又は算定排出量に対するオフセット比率	100%	D-2 D-3
	クレジットを認証した認証制度名とクレジットの種類	J-クレジット	D-4
	クレジットのプロジェクト名 (プロジェクト実施国・実施地域等の属地的情報を含む)	家庭における燃料電池の導入による CO2 排出削減プロジェクト(登録番号 P2)	D-4
	クレジットのプロジェクトタイプ(風力発電、木質バイオマス燃料転換、森林管理等)	燃料電池導入によるCO2削減	D-4
	クレジットの無効化(予定)日・無効化方法	2022年5月・10月頃予定	D-5
(5) その他必要事	製品・サービス、又は会議・イベントのチケット等の販売価格	販売価格はお客様によって異なります。	—
	消費者の価格負担(料金へ)	オフセットにかかる費用の料金への上乗せは行いま	—

項 ※3	の上乗せ)の有無		せん。	
	その他支払いに関する事項 (申込みの有効期限、不良品のキャンセル対応、販売数量、引渡し時期、送料、支払い方法、返品期限、返品送料等)		お客様ごとに個別に取り決めさせていただきます。	—
	販売事業者情報	販売事業者名	非該当	—
		運営統括責任者名	非該当	—
		連絡先(所在地、電話番号、e-mail)	非該当	—
ウェブサイトリンク先		非該当	—	

※1 複数の者がオフセット主体であると主張する場合には、別々の主体が同じカーボン・オフセットの取組に関するオフセットを同じクレジットを用いて主張すること(ダブルカウント)を防止するため、オフセット主体ごとに帰属するオフセット量を明確にすること。

※2 クレジット付きオフセット認証における消費者等及び寄付型オフセット認証における参加者等に対して、温室効果ガス排出削減を促す取組を行うこと。

※3 景品表示法、特定商取引法及び消費者契約法の対象となるものについては必須(例えば、インターネット等の通信販売や店頭販売を行う場合)。